

2024年1月13日(土)

押立図書館 どんど焼きおはなし会

1月13日(土)午後2時45分より多摩川緑地(押立地区)で、押立文化センターのどんど焼き行事の中でおはなし会を開催しました。どんど焼き会場に作られた塞の神の中で囲炉裏を囲んで、冬のおはなしを3つ語りました。



正月ということで「もちっこ焼いて」の手遊びをしてから、おはなしのろうそくをつけて、府中に伝わる昔話「ためきのお坊さん」の素話をしました。本町の安養寺や浅間山に伝わる不思議なおはなしを、子ども達はよく聞いていました。

次は、日本の昔話「ぶんぶく茶釜」のおはなしです。押立文化センターのマスコットキャラクターでもある「ためき」のおはなしを、みんな楽しそうに聞いていました。





おはなしが2つ終わったところで、「やきいも やきいも」の手遊びをしました。大きなやきいもや、小さいやきいもなどみんなで手を動かして表現しました。

3つめのおはなしは、「天福地福」という正直じいさんと欲ばりじいさんが見た初夢についての昔話です。おはなしの中で、塞の神の中心にある「囲炉裏」が出てくるので昔話の雰囲気を感じながら聞いてもらいました。

そのあと、おはなしのろうそくをみんなで消して、おしまいとなりました。

会場は出入り自由だったので、時間に集まってきた子ども達だけでなく、会場内の見学に入られた大人の方々もおはなしを楽しんで聞いていってくれました。

